

2020年8月12日(水)第2水曜祈祷会

ルカの福音書17:20～37

「終末を知る者として」

### ■パリサイ人たちとの問答

- ①神の国に対する誤った考え…「いつ」「どこで」と問う姿勢。→神の国はまだ来ていない。
- ②神の国に対する正しい考え…イエスの到来によってすでに来ている。神の国の支配。  
「ただ中」とは、この時代の、あなた自身の問題であるということ。

### ■「人の子の日」とは—1

- ①「人の子の日」を見ることのできない時代が来る(長い時間が過ぎなければならない)。
- ②「人の子の日」がいつなのか、だれにも明かされていない。すでに再臨していることもない。

### ■「人の子の日」とは—2

- ①「人の子の日」は、稲妻が天の端から天の端まで閃いて光るのと同じ。
- ②「人の子の日」は、誰の目にも認められる形で起こる。

### ■「人の子の日」とは—3

- ①人の子は、まず受難を通してメシヤの使命を果たさなければならない。
- ②再臨を待つことができるのは、受難のメシヤによって贖われた者たちだけ。

### ■「人の子の日」とは—4

- ①「人の子の日」は、突然、思いがけない時に起こる。「ノアの日」や「ロトの日」と同じよう。
- ②人々は、預言者のことばを信じようとせずに、世の財産や日常の事柄に心を捕らわれていた。

### ■「人の子の日」とは—5

- ①「人の子の日」は、救われる者と裁きを受ける者が分けられる。
- ②「人の子の日」には、地上のすべてのものは一瞬にして同時に、主の再臨の影響を受ける。

### ◎まとめ:「終末を知る者として」

- ・神の国はすでに来ている(やがて終わりの日に完成する)
- ・人の子の日(再臨の日)は突然やってくる
- ・終わりの日に備えて今を生きる。

まことに、まことに、あなたがたに言います。わたしのことばを聞いて、わたしを遣わされた方を信じる者は、永遠のいのちを持ち、さばきにあうことがなく、死からいのちに移っています。(ヨハネ5:24)